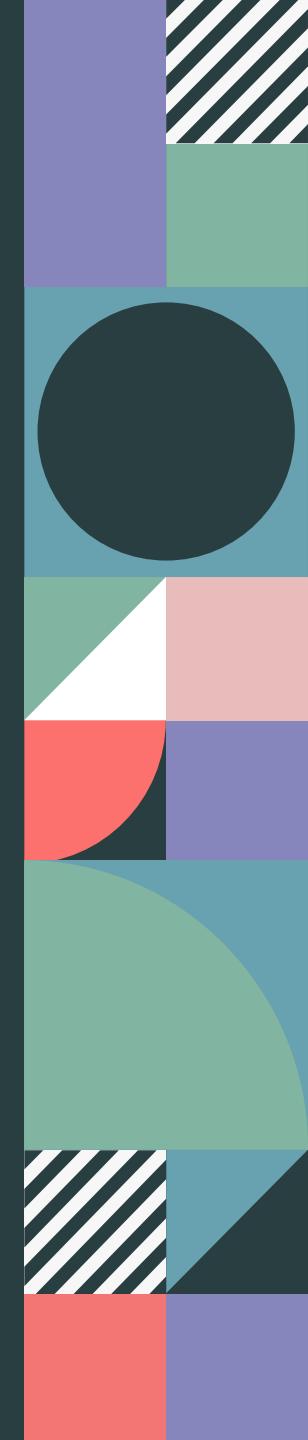


servicenow

ServiceNow Japan プレス向け説明会

DX人材育成への取り組みについて
～ServiceNow特別教育プログラム
「NextGenプログラム」実施について～

2021年11月24日（水）



Safe harbor notice for forward-looking statements

This presentation may contain “forward-looking” statements that are based on our beliefs and assumptions and on information currently available to us only as of the date of this presentation. Forward-looking statements involve known and unknown risks, uncertainties, and other factors that may cause actual results to differ materially from those expected or implied by the forward-looking statements. Further information on these and other factors that could cause or contribute to such differences include, but are not limited to, those discussed in the section titled “Risk Factors,” set forth in our most recent Annual Report on Form 10-K and Quarterly Report on Form 10-Q and in our other Securities and Exchange Commission filings. We cannot guarantee that we will achieve the plans, intentions, or expectations disclosed in our forward-looking statements, and you should not place undue reliance on our forward-looking statements. The information on new products, features, or functionality is intended to outline our general product direction and should not be relied upon in making a purchasing decision, is for informational purposes only, and shall not be incorporated into any contract, and is not a commitment, promise, or legal obligation to deliver any material, code, or functionality. The development, release, and timing of any features or functionality described for our products remains at our sole discretion. We undertake no obligation, and do not intend, to update the forward-looking statements.

本日のアジェンダ

- ServiceNow Japan
国内におけるDX人材の状況と課題、NextGenプログラム概要
- 広島大学
DX人材育成とServiceNow JapanとのNextGenプログラムへの取り組みについて
- 【ゲスト】東広島市
DX人材育成への取り組みとNextGenプログラムでの活動報告
- 今後の展開について
- 質疑応答（10min）

ServiceNowのDX人材育成への取り組み ～NextGenプログラム概要～

ServiceNow Japan合同会社
第一営業統括本部
公共・社会インフラ営業本部
営業本部長
野澤 さゆり



コロナ禍が浮き彫りにした日本のデジタル遅れ

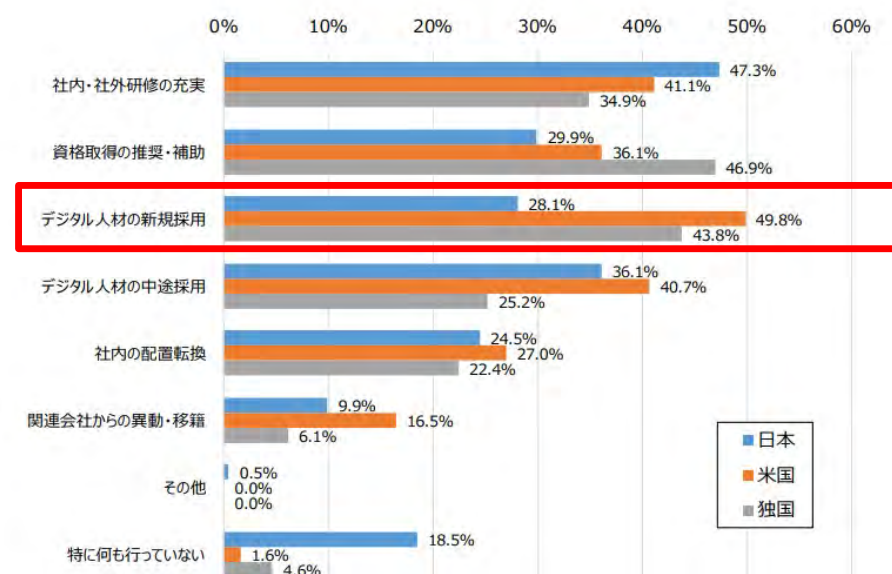
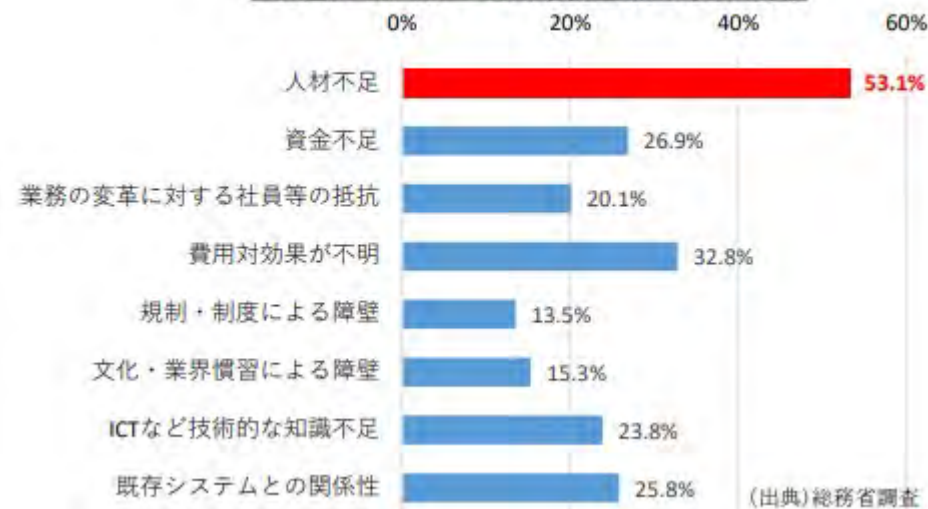
- 2000年のIT基本法制定以降、国家戦略を掲げてデジタル化に取り組み、ブロードバンド等の整備は大きく進展したが、国際指標（IMD）における日本のデジタル競争力ランキングは27位
- 日本企業のICT投資は業務効率を目的としたものが中心で、事業拡大や新事業進出といったビジネスモデルの変革をとまなうDX推進は諸外国から遅れをとっている。
- 日本では、ICT人材はICT企業に偏在していて、企業がDXを進めるうえでの人材不足が深刻化しており、DX推進の大きな足かせに。

2030年には 45万人のICT人材が不足する見込み

（*経産省(2019)「IT人材需給に関する調査」）

now

DXを進める上での課題(日本企業)



ServiceNowのグローバルインパクト戦略



IT
Workflows



Employee
Workflows

Workflow a better world

Changing the world one workflow at a time on the Now Platform



Customer
Workflows



Creator
Workflows

環境 (Environment)

地球を守る

資源を有効活用した
ネット・ゼロカーボン環境を目指す



気候変動と
エネルギー



持続可能な調達



廃棄物

社会 (Social)

均等な機会を創出

すべての人にとって、仕事をより公平で、
アクセスしやすく、
やりがいのあるものにする



人材



デジタル
デバイド



DIBs*



コミュニティ
エンゲージメント



Future
of work

将来の労働力を強化
ダイバーシティ、インクルージョン、
ビロングの醸成
従業員とコミュニティのエンゲージメント強化

ガバナンス (Governance)

誠意ある行動

倫理と透明性、安全性のある事業活動を通
じて信頼を築く



データの安全性と
プライバシー



ガバナンス
と倫理



事業継続性

透明性と情報開示をリード
安全性と説明責任の確保
責任ある、倫理的なデータ利用の推進

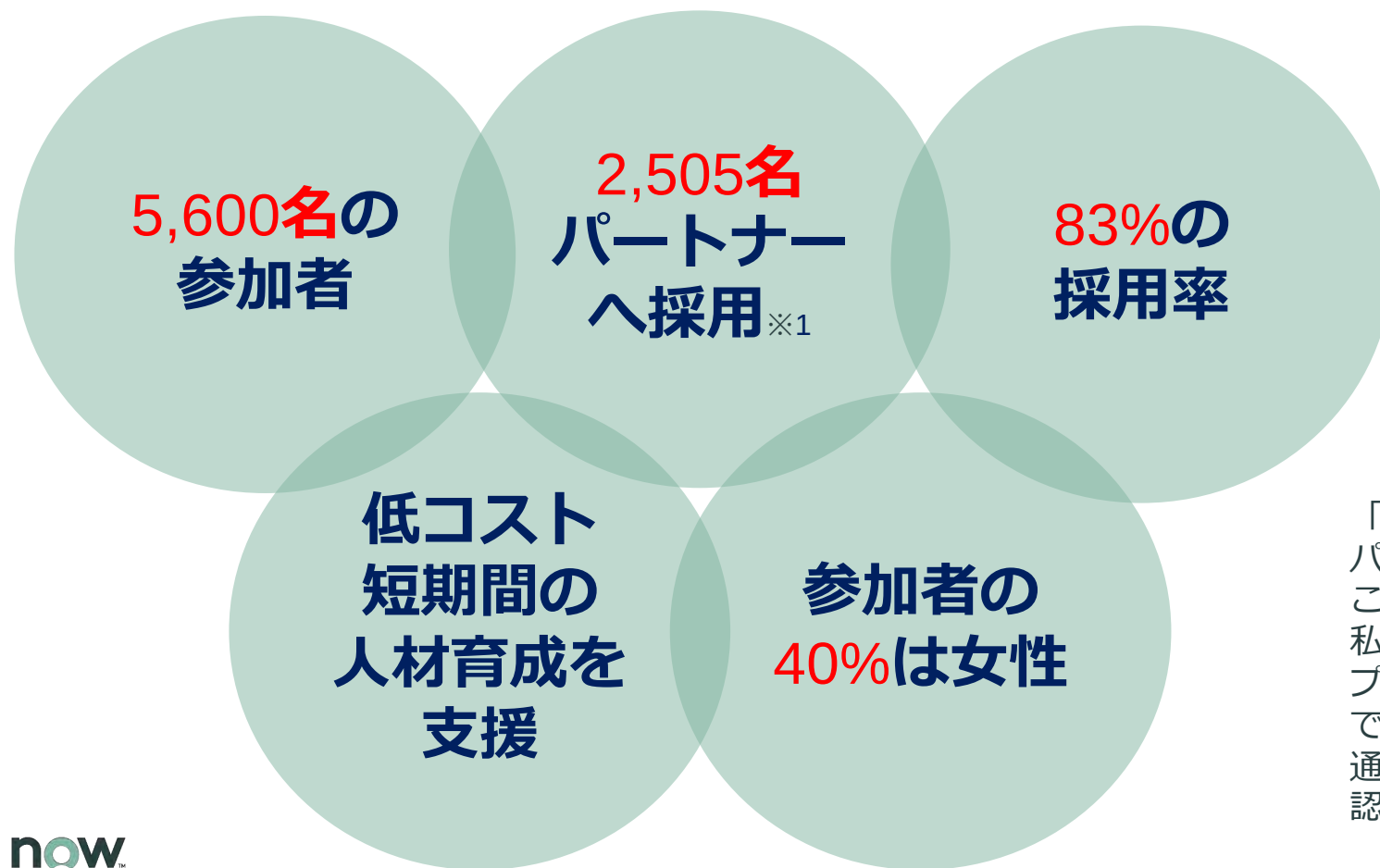
ESGの優先課題

主な取り組み

脱炭素化の加速
サーキュラーエコノミー（循環型経済）の推進

NextGenプログラムとパートナーエコシステム

人材のギャップを補い、ServiceNowプロフェッショナル人材のエコシステムを拡大



「これまで5年にわたるServiceNowとのパートナーシップがあり、この度このプログラムに参加しました。私たちは7週間行われた非常に体系的かつ集中的なプログラムを通じて、16名の採用につなげることができました。開発者のオンボーディングは通常6ヶ月かかる上、時間の確保が難しいという理由で認定合格率も低いというのが現状でした」

- Idan Harel, CEO, Do It Wise



NextGenプログラム：デジタルエコノミーの扉を開ける

Next Genとは

- 次世代の人材育成のために**無償で提供する特別教育プログラム**
- **パートナーエコシステムの拡大**のため、ServiceNowのスキルを持った新たな人材の確保を目指し、**参加者の就職を支援**します。

アカデミックプログラム

- 大学と連携して、学生に実社会のシナリオを提供し、企業で働くことを事前に体験する場を提供
- 学生が即戦力として活躍することを支援

青少年育成とデジタルリテラシープログラム

- 何らかの理由で高等教育を受けることができなかった人たちに、人生の再出発の機会を与えるプログラム

生活のためのスキル

- 復職した母親、障がい者など、さまざまな人たちの再教育を目的としたプログラム
- 新しいスキルと人生の新たなページを開くためのサポート



My Transition App

大学生活スタート時の手続き、サービス利用をアプリでできるように

Covid Appointment Booking Apps

COVID-19 PCR検査の予約アプリ

Ocean Clean Up Apps

海の清掃をするボランティアのグループを管理するアプリ

Ride Sharing Apps

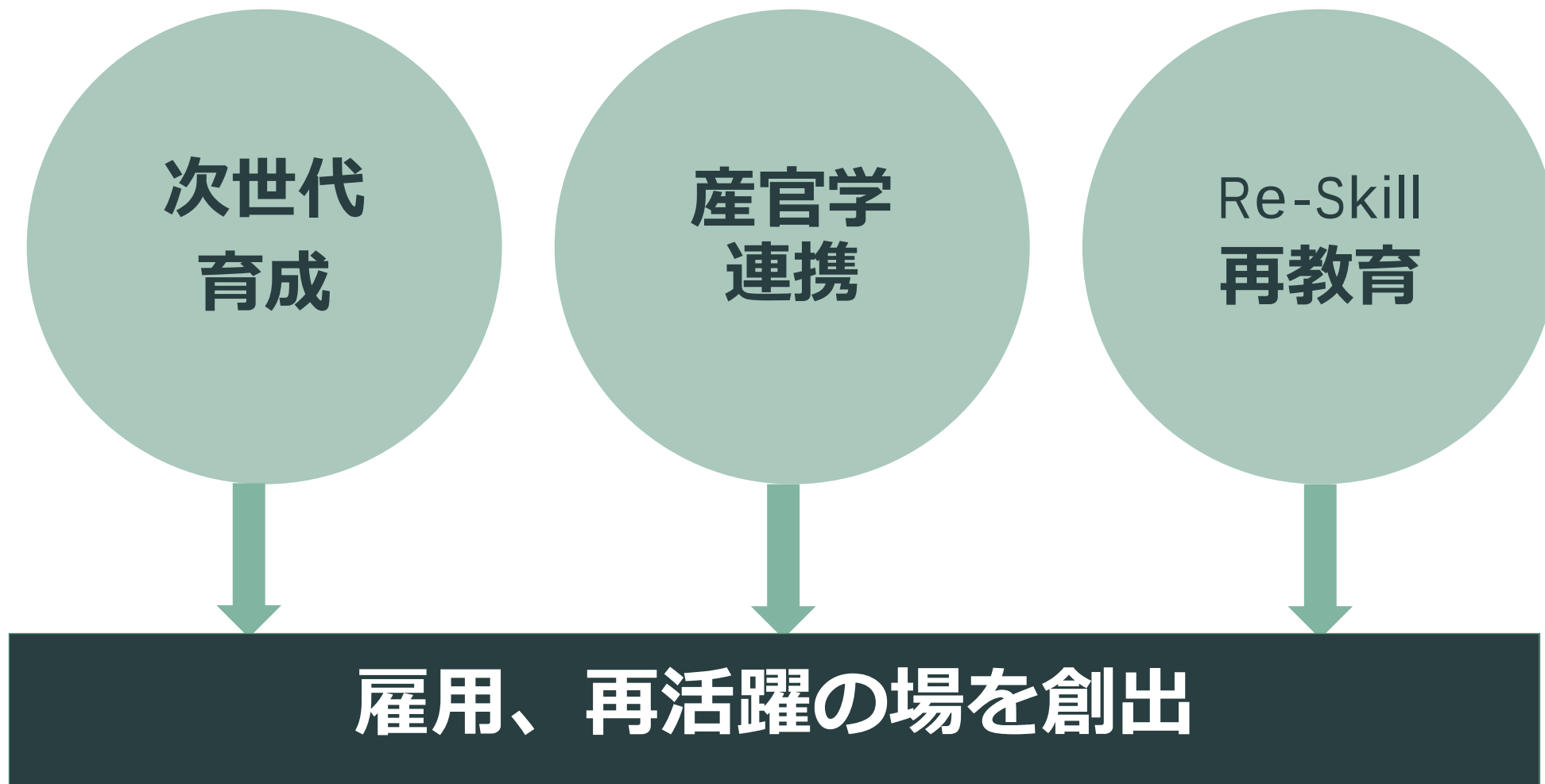
環境汚染防止のため、カーシェア、シェアバイクの使用最適化を図るアプリ

@Western University カナダ

学生と大学スタッフの各種手続きを ServiceNow のデジタルワークフローを利用し、大学の様々な手続きをモバイル&自動化

- 学生への就職支援
- 大学施設予約
- 1日の予定管理（次のクラス、場所、移動）
- COVID-19 Safe Space App
- 学生のコミュニティアプリ
- 学生のためのオリエンテーションリソース、カリキュラム別の進捗管理
- 持続可能な社会のための改善点、指標を管理するダッシュボード

「デジタルリテラシー向上のための協業と投資」への取り組み



国内初のNextGenプログラム

servicenow®



広島大学

第一弾：広島大学情報メディア教育研究センター

大学・企業双方にある課題を解決するための
新しいチャレンジを広島大学で行います。

now™



「テクニカルトレーニング+インターンシップ」ハイブリッドプログラム

目指せ！ アプリケーション 戦国時代の主役

No/Low-Code 開発で日本を変える人材へ！



広島大学とのNextGenプログラム

第1ステップ

Now Platform 上で、No/Low Code開発にてアプリを作成するための技術的なスキルの習得

第2ステップ

アプリ開発のための理論武装と将来のリーダーシップになるための気づきを提供

第3ステップ

作成したアプリとその価値訴求を、ゲスト参加したインターン企業の前でプレゼン

最終ステップ

ServiceNowを活用している企業で、インターン生として、実践を経験

トレーニングプログラム概要

	開講日時	講義内容
1	2021/6/11 (金) 15:20-17:50	ServiceNow 紹介、デモ 各種リソース、サイトへのアクセス確認
2	2021/6/18 (金) 15:20-17:50	ServiceNow Fundamentals (SNF) (ServiceNow の基礎) コース講義
3	2021/6/25 (金) 15:20-17:50	ServiceNow Fundamentals (SNF) (ServiceNow の基礎) コース講義
4	2021/7/2 (金) 15:20-17:50	ServiceNow Fundamentals (SNF) (ServiceNow の基礎) コース講義
5	2021/7/9 (金) 15:20-17:50	Application Development Fundamentals(ADF) (アプリケーション開発の基礎) コース講義
6	2021/7/16 (金) 15:20-17:50	Application Development Fundamentals(ADF) (アプリケーション開発の基礎) コース講義
7	2021/8/10-12 (火～木) 8:45-17:50	・コース復習 ・グループワーク：アプリ開発実践！ ・グループワーク：開発アプリの発表

コロナ禍の中、
全日程をリモート環境で実現

第1ステップ：アプリ開発に必要な技術的な教育および認定資格取得機会の提供

- No/LowCode開発の技術的なトレーニング
 - トレーニングで習得したアプリケーション開発スキルをServiceNow顧客企業のインターン現場で実際に活用する=即戦力へ
- ServiceNow認定資格を取得するための基礎知識（世界で5万人以上の取得者）
 - Certified System Administrator 資格(CSA)
 - Certified Application Developer 資格(CAD)



第2ステップ：アプリ開発に必要な理論やリーダーシップ論

- 高付加価値アプリ開発のための基礎知識
- 開発するアプリの価値を言語化するスキル
- 高付加価値に高い対価をいただくための、理論武装とプレゼンテーション能力の向上



付加価値へ
と昇華出来る人



それを
Experience
という形に具現化して



Contextに
気付いて

第3ステップ：グループワークによる実際のアプリ開発

「Sui-Sui」とは

コンセプト 水道のことは、スイスイ (Sui-Sui) でき〜る。

サービス スマートフォンで、水道関係の料金確認や決済・各種手続きが完結する。



Sui-Sui

	1面	2面	3面
誰の？	水道利用者	市役所（水道局）	水道事業者
どんな要望？	水道に関する手続きを行いたい	手続き情報を元に業務を行う	手続きを元に業務を行う
魅力・価値	手続きをする際に、市役所に出向く・紙媒体で送るなどの手間が減る。 水道使用量などが可視化 できる。電子メッセージでやりとりできる。	手続き情報・水道使用量などがデータ化され可視化しやすくなる。 検針作業を減らせる 。	故障などの利用者からの要望に迅速に対応できる。業務の状況が一目でわかる。メールが来るので仕事が入ったのがわかる。
シンプル	スマホから直感的な操作	手続き情報がデータ化。 手続きの際の通知紙を送る必要がなくなる 。	業務発注者との連絡が簡単
スピーディー	移動する必要がなく、短時間で 手続きが完了する	検針を実施せず、利用者からの電子的な報告で情報を取得	配達指示プロセスが簡便
完結性	スマホ一つで、完結する （決済方法の確認、転居時の利用開始・停止届、使用水量・使用金額の受け取りなど）	転居時などに発生していた申込書等のやりとりが 電子で完結 する	料金回収業務を行わなくて良い（クレジット決済の場合）
透明性	過去の使用水量や世帯ごとの平均使用量を把握することができる（ 使用水量の節約につながる ）	手続きなどの過去の作業の流れを見ることが出来る	自身の頑張りが入収に跳ね返り易い

now™

SchoolNow

課題と目標

ServiceNowを用いて 教育現場を変える



- ・教育現場の実態を把握できる
- ・教育現場の人手不足の解消

ウェディングアロー

サービス全体イメージ



事務作業
軽減アプリ



例) 団体結成更新届

研究室の備蓄管理アプリ



最終ステップ：インターンシップ機会の提供

インターン受け入れ先企業&自治体

NTT DATA

EXEO
エクシオグループ株式会社

DXC TECHNOLOGY

日本電気株式会社

つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる


net one

 東広島市

HITACHI
Inspire the Next
株式会社 日立ソリューションズ

FUJITSU

now

「NextGenプログラム」による デジタル人材育成への取り組みについて

情報メディア教育研究センター

西村 浩二



広島大学

広島大学の概要 (2021年5月1日現在)



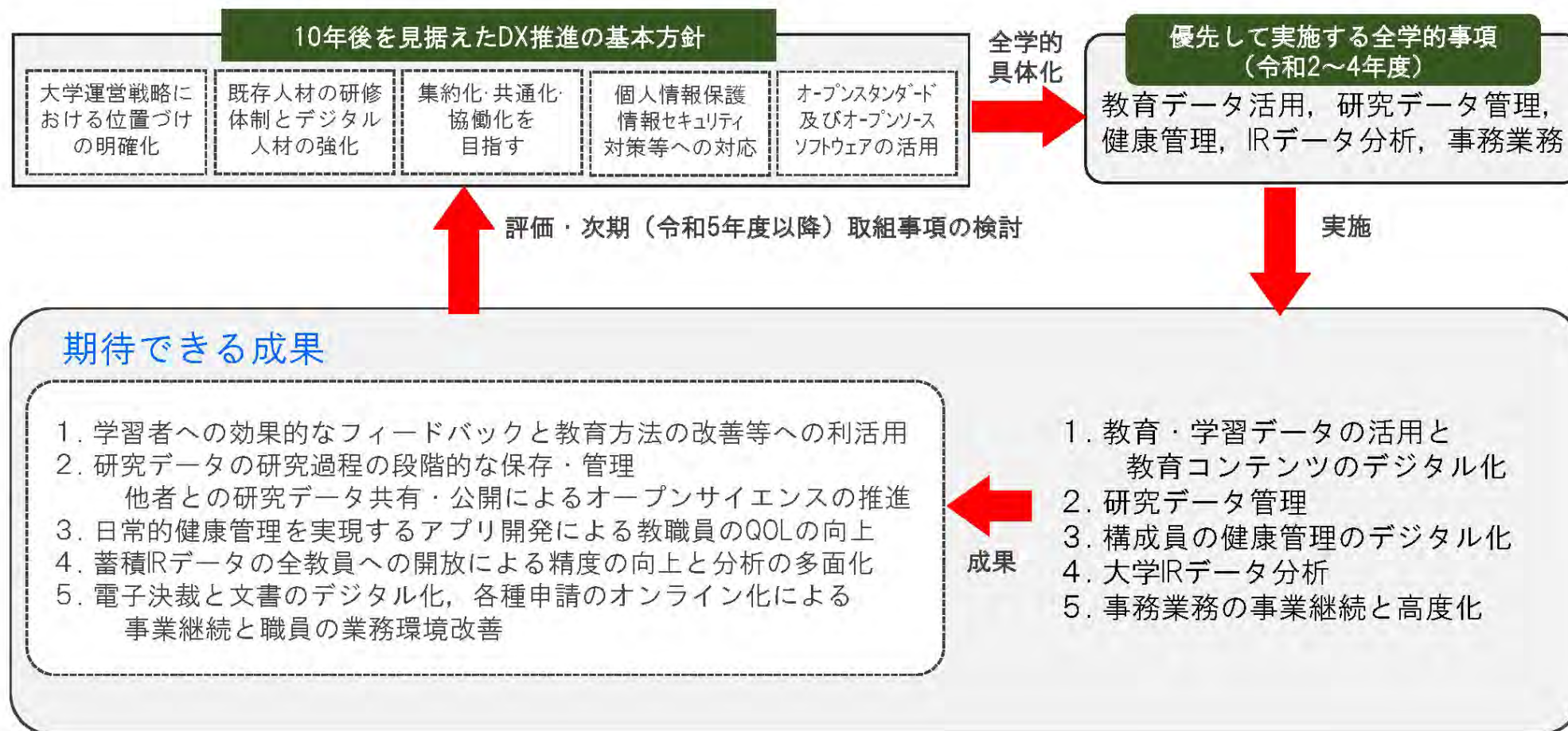
- キャンパス、遠隔地区・施設、県外・海外拠点施設等
 - ①東広島キャンパス、②霞キャンパス、③東千田キャンパス、④～⑱遠隔地区
 - 県外オフィス3 (東京, 大阪, 福岡)
 - 海外センター・オフィス22 (中国5, インドネシア2, ベトナム1, ブラジル1, 韓国1, 台湾1, ロシア1, ケニア1, エジプト1, ミャンマー1, メキシコ2, カンボジア1, リトアニア1, ドイツ2, モンゴル1)
- 部局等
 - 学部12, 特別専攻科1, 研究科15 (うち11研究科は在学生向け・学生募集停止), 研究科横断的な学位プログラム1
 - 附置研究所1, 教育本部, 学部等附属の教育研究施設16, 全国共同利用施設1, 共同利用・共同研究拠点2, 中国・四国地区国立大学共同利用施設1, 学内共同教育研究施設等25, 各理事室所属のセンター等10, 図書館5
 - 大学病院 (診療科: 医科34、歯科13)
- 構成員数: 19,262名
 - 学部学生10,605名, 大学院生4,435名, 専攻科学生16名, 研究生・科目等履修生533名
 - 役員11名, 教員1,872名, 職員1,779名

<2020年度>

- 学部就職: 1,271名
- 大学院 (修士課程・博士課程前期) 就職者: 803名

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/about>
https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/about/employment_report

広島大学DX推進基本計画



- デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン (令和2年度第3次補正予算)
 - 大学教育のデジタル化 → 「バーチャルクラスルームデジタルラーニング (VCDL)」環境の構築
 - 繋がって創る (学内外の連携による開発) + 繋げて広げる (学内外での連携による普及)

東広島市及び周辺地域におけるSociety 5.0やスマートシティの実現などに向けた包括的な連携推進に関する協定



- 大学と大学が立地する地域の自治体が持続可能な未来のビジョンを共有
 - 地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と人材育成の推進
 - 民間企業、企業家や投資家、市民と連携した産学官連携エコシステムである地域共創の場の形成

デジタル人材育成の取り組みの背景

- 自身の企業での就業経験
 - － 大学（教育・研究）と企業（利益追求・社会貢献）それぞれが組織として、個人に求めるもの違いへの気づき
 - － その後の自らの意識や振る舞いに（良い意味での）大きな影響を与えた（与えるはず）
- 技術トレーニング（プログラミング等）の定着度
 - － 2020年度から「情報・データサイエンス科目」を実施
 - － 身に着けた技術を試す（披露する）場の必要性
- インターンシップの位置付けや意義
 - － 就職活動の1ステップ（卒業・修了生が主な対象）
 - － 一定のスキルを持たないメンバーに実業務を担当させられない（経験できない）

servicenow®



広島大学

日本向けに特別にアレンジされた
「NextGenプログラム」

+

ServiceNowご利用企業・自治体様での
「インターンシップ」



「テクニカルトレーニング+インターンシップ」ハイブリッドプログラム

プログラムへの参加状況について

- 参加学生の属性
 - － 学部生
 - B1：総合科学部(2)
 - B2：総合科学部(1)
 - B3：総合科学部(2), 情報科学部(1)
 - － 大学院生
 - M1：先進理工系科学研究科(3), 人間社会科学研究科(3)
 - M2：先進理工系科学研究科(1)
 - D2：先進理工系科学研究科(1)
- インターンシップ期間
 - － 期間：各3日～3週間
 - 複数のインターンシップに参加した者も (トレーニング～インターンシップまで3ヶ月間に渡ってServiceNow三昧！)
- NextGenプログラムの感想 (一部)
 - － もっと手を動かす機会を増やすと良い
 - － 難易度の見える化 (レベル分け)
≡インターンシップに求められる技量
- インターンシップの感想 (一部)
 - － インターンシップに対する意識の変化
 - 就活を有利に進めるための差別化ポイント (就活生)
 - 自身の見識を広める目的で参加 (その他)
 - － トレーニングとインターンシップの組合せについて
 - 競争率の高い企業のインターンシップへ参加する手段のひとつ (参加前)
 - 一般参加者と異なるインターンシップ内容 (参加前)
 - 「成果物をよりよくするには？」
「ServiceNowの強みは何か？」という意識の芽生え (参加後)
 - － 一般のインターンシップとの違い
事前にトレーニングを行ったことで...
 - 短いインターンシップ期間でも、デモ環境での開発から成果物のプレゼンまで広く経験できた (学生目線)
 - 受入側の対応コストの低減につながった (企業目線)

東広島市におけるDX人材について

2021年11月24日
東広島市役所
総務部 **DX**推進監
橋本 光太郎

1 東広島市の現況（自然豊かな国際学術研究都市）



■豊かな自然と教育・研究機関の集積



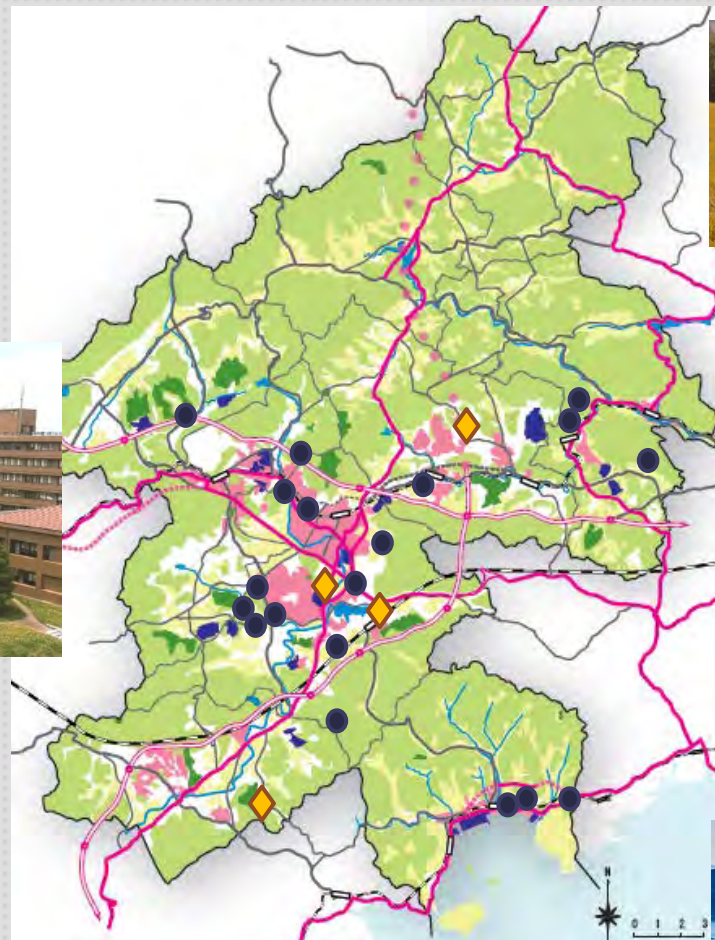
東広島寺家産業団地



広島大学



広島中央サイエンスパーク



● ● 公的工業団地



やさしい
未来都市
東広島

製造品出荷額等（現市域） 製造品出荷額等（市域） 総人口（現市域） 総人口（市域）

昭和49（1974）年4月、西条・八本松・志和・高屋の4町の合併により、広島県内で12番目に誕生

平成17（2005）年2月、黒瀬・福富・豊栄・河内・安芸津の5町との合併

平成26（2014）年4月、市制施行40周年

1,129 66,236 184,430 9,987 192,907 10,605

・昭和49（1974）年4月、西条・八本松・志和・高屋の4町の合併により、広島県内で12番目に誕生

・広島大学工学部移転開学
・東広島市流通センター開設

・広島中央テクノポリス地域指定
・西条広島間シティ電車運行

・山陽自動車道志和の開設

・東広島中核工業団地完成
・山陽自動車道西条の開設
・新幹線東広島駅開業

・近畿大学工学部移転開始

・広島中央サイエンスパーク完成

・国道2号西条バイパス全線開通

・国税庁醸造試験所移転完了
・広島大学統合移転完了

・JICA中国国際センター開所

・近畿大学工学部移転完了

・ブルーバール全通

・コラスケエア開所

・道の駅湖畔の里福富開業

・FM東広島開局

・市役所新庁舎完成

・西条駅南北自由通路供用開始
・東広島道路全線開通

・東広島芸術文化ホールくまの開業

・元寺家駅開業

（人） （億円）

（年、年度）

3 社会情勢の変化への対応（やさしい未来都市東広島の実現）

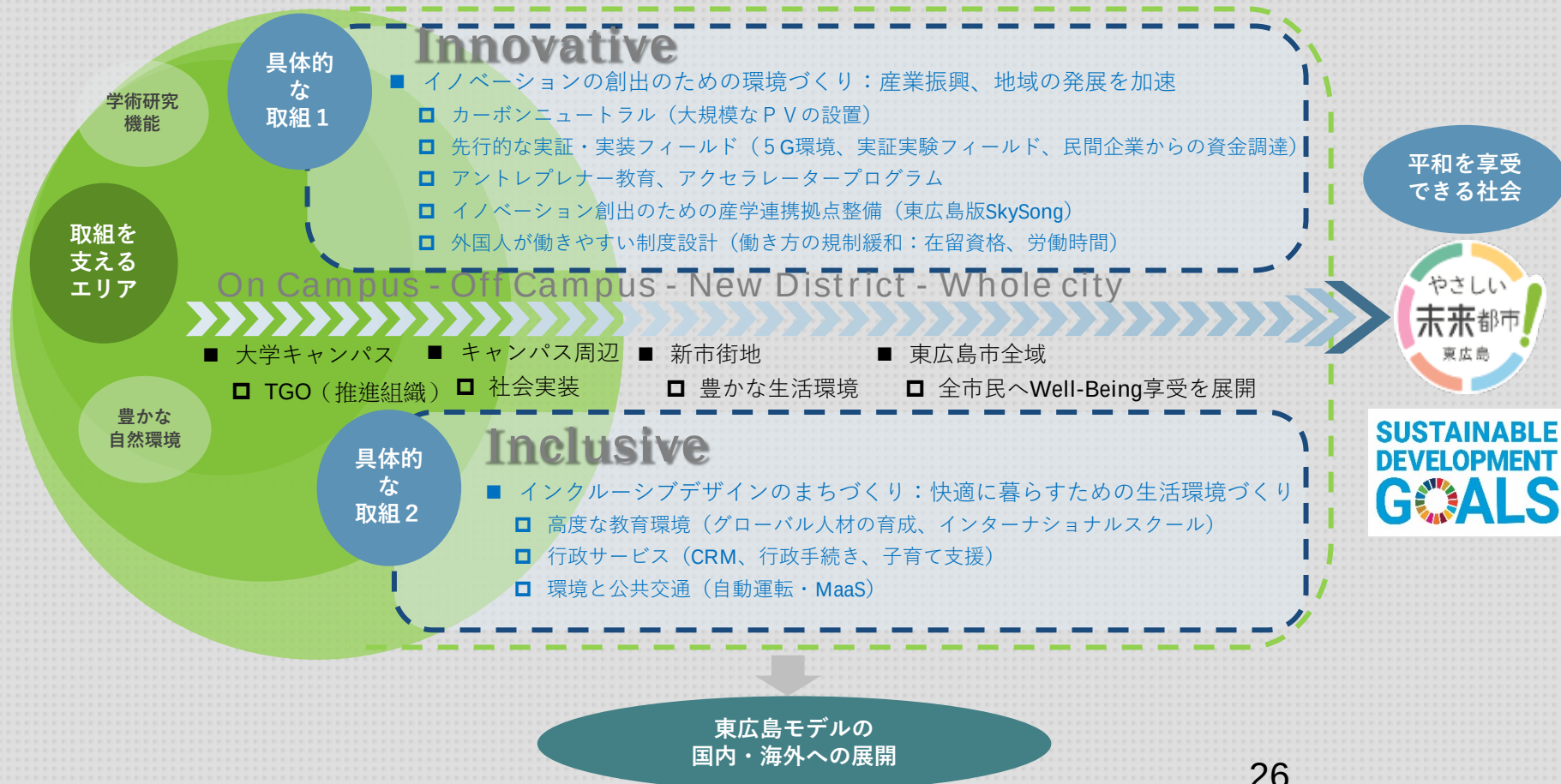
グローバルなピース&サステナブルユニバーシティタウン構想



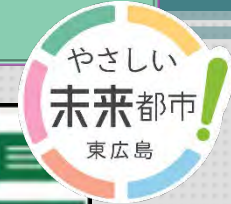
目指す姿

～世界がつながる次世代の学園都市～

大学のグローバル展開と連動しながら、世界から多様な人材が集まる。
多様な人材は、ノウハウや投資を呼び込み、イノベーションを起こす。
イノベーションは東広島市、広島県全体の産業振興、地域の発展につながる。
世界とつながり、世界が東広島市でつながるインターカルチュラルシティとなる。



4 CRMプロジェクト



Citizen Relationship Management

1 複雑化

導入を検討していた令和元年初秋の状況

- ・ サービス向上のために導入したスマホアプリの増加
- ・ スマホアプリ・Webサービスなどの接点の分散
- ・ 双方向サービスの欠如

2 多様化

住民のライフスタイルが多様化

- ・ 個別導入サービス加入者の伸び悩み
- ・ サービス間連携の欠如による利便性向上の壁

UX層やバックヤードでサービスやシステムをつなぐものが必要とされている???



5 DXの組織

(1) 目的・組織名

創造・共創・デジタルネイティブの要素を一体として推進するためにDX推進監のもとにDX推進チーム設置。

(2) 組織構成

3名チーム（プログラマ、デザイナー、カタリスト）

- ・プログラマ チームにおけるICTプロダクトの作成・技術助言
- ・デザイナー サービスデザインやマーケティングによる事業の見直し
- ・カタリスト プロジェクト全般に対する調整・内部とのつなぎ役



※チームのうち、2人は外部登用人材（プログラマとデザイナー）

- ・コーディネータは各チーム間の調整や横断プロジェクトの企画・対外調整

6 NextGenプログラムとインターン 1

1 NextGenプログラム

NextGenプログラムへは本市からも職員2名が参加。
目的は、CRMのプラットフォームでのプログラマー育成。

2 インターン

9月13日から9月28日まで（閉庁日を除く10日間）
2名を受け入れ。

広島大学大学院 人間社会科学研究科 1名

広島大学 総合科学部 1名

6 NextGenプログラムとインターン 2

3 インターンの取組事例（1）

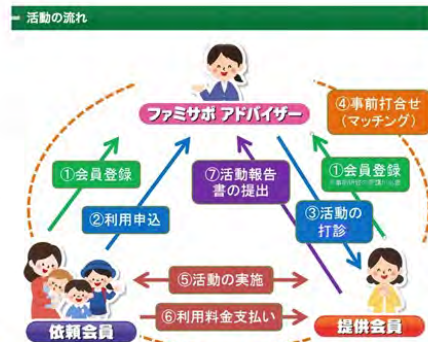
【対象業務】 市の事業であるファミリーサポートセンターの業務

- ・フローの見える化
- ・デジタル化及びE 2 Eでのフロー見直し、ServiceNowを利用して3者間のマッチングを実現するフローを学生が設計。

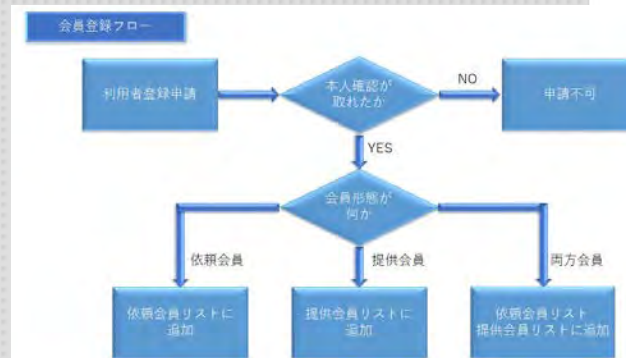
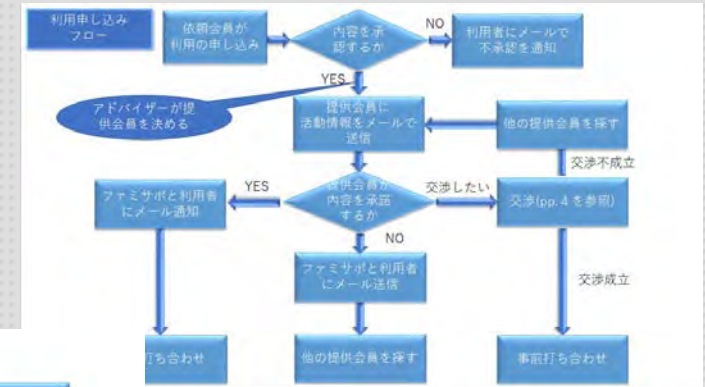
ファミサポの概要

・ファミリー・サポート・センターは、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と、援助を行いたい人（提供会員）を結びつけ、地域で子育てを支え合う会員組織

業務フロー・機能要件の提案



- 依頼会員・提供会員とも会員登録を行います。
- アドバイザーが、依頼会員から利用申込（依頼内容）を受け取ります。
- 依頼内容に応じることのできる提供会員へ、活動の打診を行います。
- 依頼会員、提供会員、アドバイザーとの間で事前打ち合わせ（マッチング）を行い、援助内容、子どもの状況など十分に話し合い、互いの理解を深めるようにします。お子さんと一緒にお願いします。
〔双方の合意が得られた場合は、連絡先の交換を行います。〕
- 活動の実施にあたり、依頼会員は希望提供会員へ依頼し、決定した活動日をアドバイザーへ連絡します。
〔連絡方法：電子申請、メール、電話またはLINE〕
- 活動終了後、依頼会員は提供会員に利用料金を支払います。
- 提供会員は、アドバイザーへ活動報告書を提出します。
〔提出方法：メールまたは持参〕



6 NextGenプログラムとインターン 3

3 インターンの取組事例（2） CRMに不足しているサービスの提案

【問い合わせフォーム】

個人（開発用）インスタンスで市民ポータルサイトへ問い合わせフォームを学生が実装。

イメージ

The image shows a screenshot of a web application interface. On the left, there is a vertical menu with four items, each with a circular icon and text:

- 市役所からの欲しい情報の設定** (Setting of information you want from the city office): あなたの市からの知りたい情報を登録してください。知りたい情報を、メールやLINEにお知らせします。
- 小中学校・幼稚園** (Elementary and middle schools, kindergartens): こどもの情報や学校関係者のグループ情報を登録してください。小中学校や幼稚園からお知らせを、メールやLINEにお知らせします。
- ごみ収集日通知設定** (Waste collection day notification setting): あなたのお住いのごみ収集日を登録してください。ごみ収集日前日に、メールやLINEでお知らせします。
- 問い合わせ** (Inquiry): 問い合わせはこちらから (Inquiry is from here)

On the right, there is a form titled **問い合わせフォーム** (Inquiry form). It has the following fields:

- 名前 (Name):
- 電話番号 (Phone number):
- メールアドレス (Email address):
- 問い合わせ内容 (Inquiry content):

Below the fields, there is a link: 添付ファイルを追加 (Add attachment file). At the bottom of the form is a green button labeled **送信** (Send).

A black arrow points from the 'お問い合わせ' menu item to the '問い合わせフォーム' form.

7 まとめ

1 企画の今後

Next Genプログラム及びインターンで提案された案

- ・ Sui Sui
- ・ 問い合わせフォーム

2 人材育成

- ・ ローコードスキル
- ・ フロー見える化＋リデザイン

ServiceNow Japan デジタル人材育成 今後の展開



今後の展開：プログラム対象を拡大

アカデミックプログラム

- **大学と連携**して、学生に実社会のシナリオを提供し、企業で働くことを事前に体験する場を提供
- **学生が即戦力として活躍**することを支援

生活のためのスキル

- **復職した母親**、障がい者など、さまざまな人たちの再教育を目的としたプログラム
- 新しいスキルと**人生の新たなページを開くためのサポート**

質疑応答

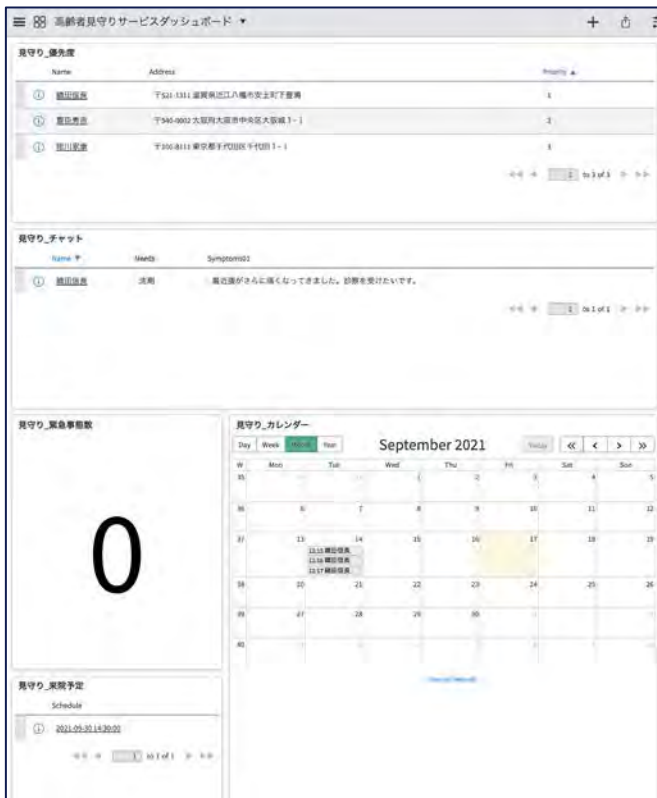
【ご参考資料】 NextGenプログラム インターンシップで開発したアプリ紹介

制作①【高齢者見守りサービス】

・登録されている高齢者の情報に基づいて平常時の見守りの優先度を決定し、見守り現場の負荷を軽減

（IoT機器やチャットボットなどデジタルに確認を行えない/行えていない人を優先）

画面例



実現機能



インターン生の成果/感想

ServiceNowの挙動が把握できた

- ・慣れは必要、何もかもができるわけではない
- ・強みを活かすにはソリューションに人が合わせる姿勢も必要

NTTデータで働く場合のイメージが持てた

- ・テレワークの体験
- ・社員やオフィスの雰囲気

制作②【With/After Covid-19 入退室管理サービス】

- ・できるだけ人が少ない時・出勤場所が選べる
- ・出勤履歴から発症時の対応が迅速にできる

画面例



実現機能



インターン生の成果/感想

ServiceNowの使用法・開発方法

- ・プラットフォームサービスの使用
- ・データベースの設計の考え方
- 企画・プレゼンする方法
- ・根拠の示し方
- ・認識のすり合わせ
- リモートワークの体験

エクシオグループ株式会社 インターンシップで開発したアプリのご紹介



入退館管理システム

ビルに入館する訪問者の入退館申請、および入館証の管理を行う。

現状、入退館申請および入館証の管理を警備員が人手で実施しており、ServiceNow（ITSM/NowPlatform）を活用し効率化を図る。

【機能】

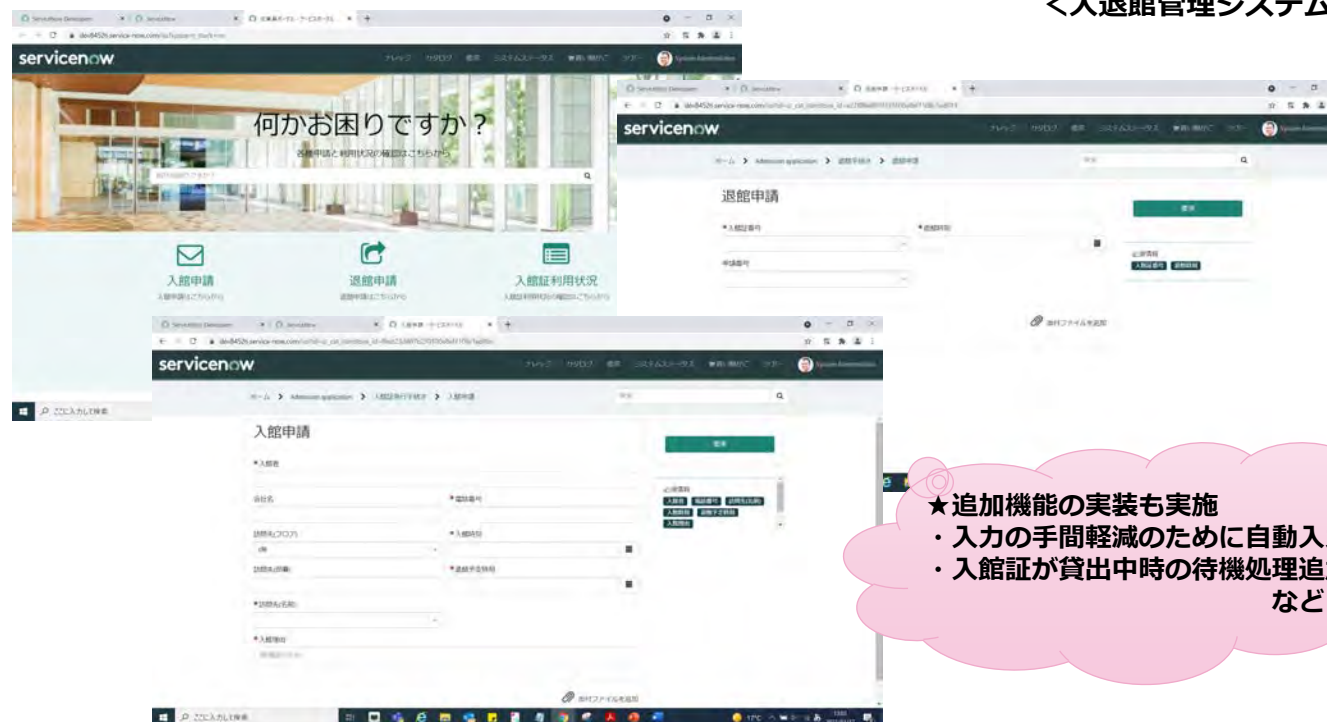
入退館管理システムでは以下の機能を実装

- ① 入館申請 ② 入館申請通知 ③ 退館申請 ④ 申請状況管理 ⑤ 入館証利用状況管理 ⑥ 入館証未返却通知

<入退館管理システムイメージ>



<入退館管理システム画面>



- ★追加機能の実装も実施
- ・入力の手間軽減のために自動入力
 - ・入館証が貸出中時の待機処理追加など

人事関連の書類手続きのオンライン化

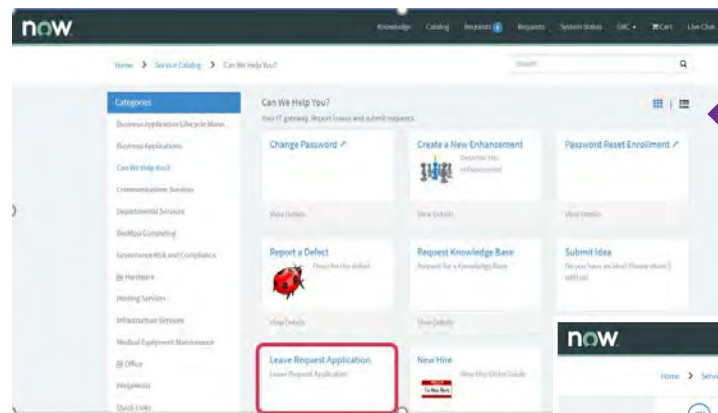
—妊娠 産休 復職申請

課題：

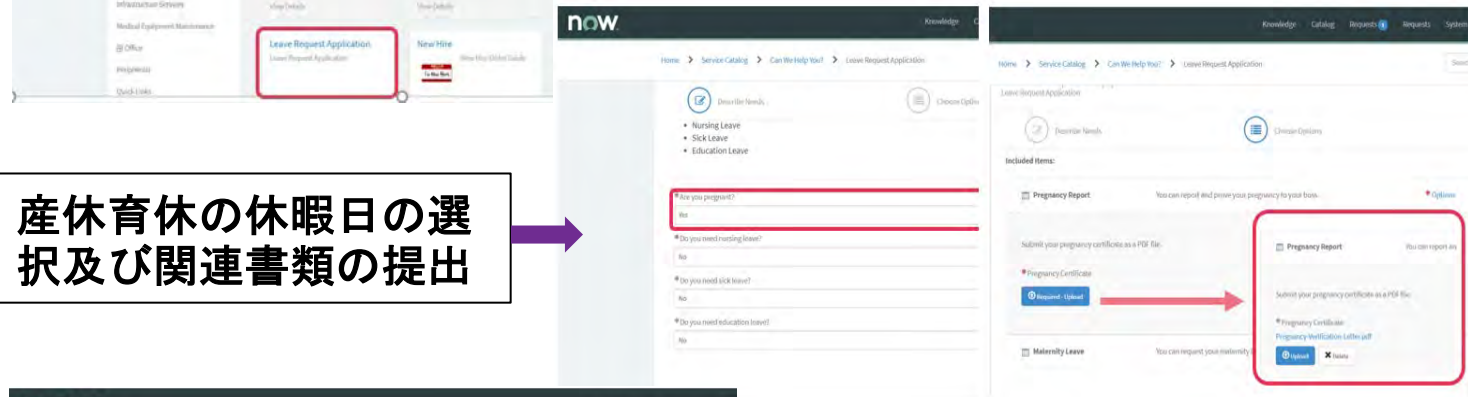
1. 申請内容の不備、抜け漏れ
2. 書類申請手続きの遅延
3. 人材管理業務への影響

解決案：

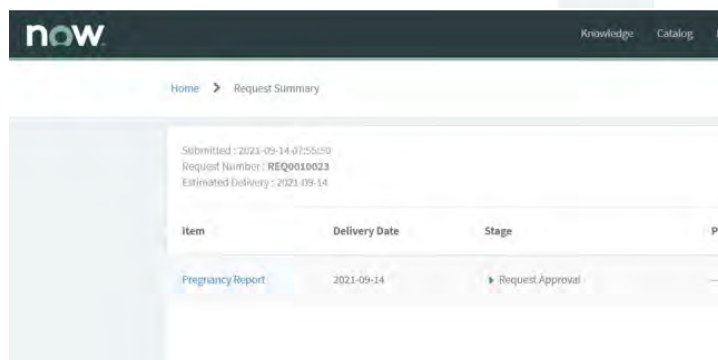
1. 申請者が忘れず間違えず申請できるフォーム設計
2. 書類手続きの確認状況を見える化
3. 申請内容から将来を予測する



”Leave Request Application”
にアクセスを選択する



産休育休の休暇日の選
択及び関連書類の提出

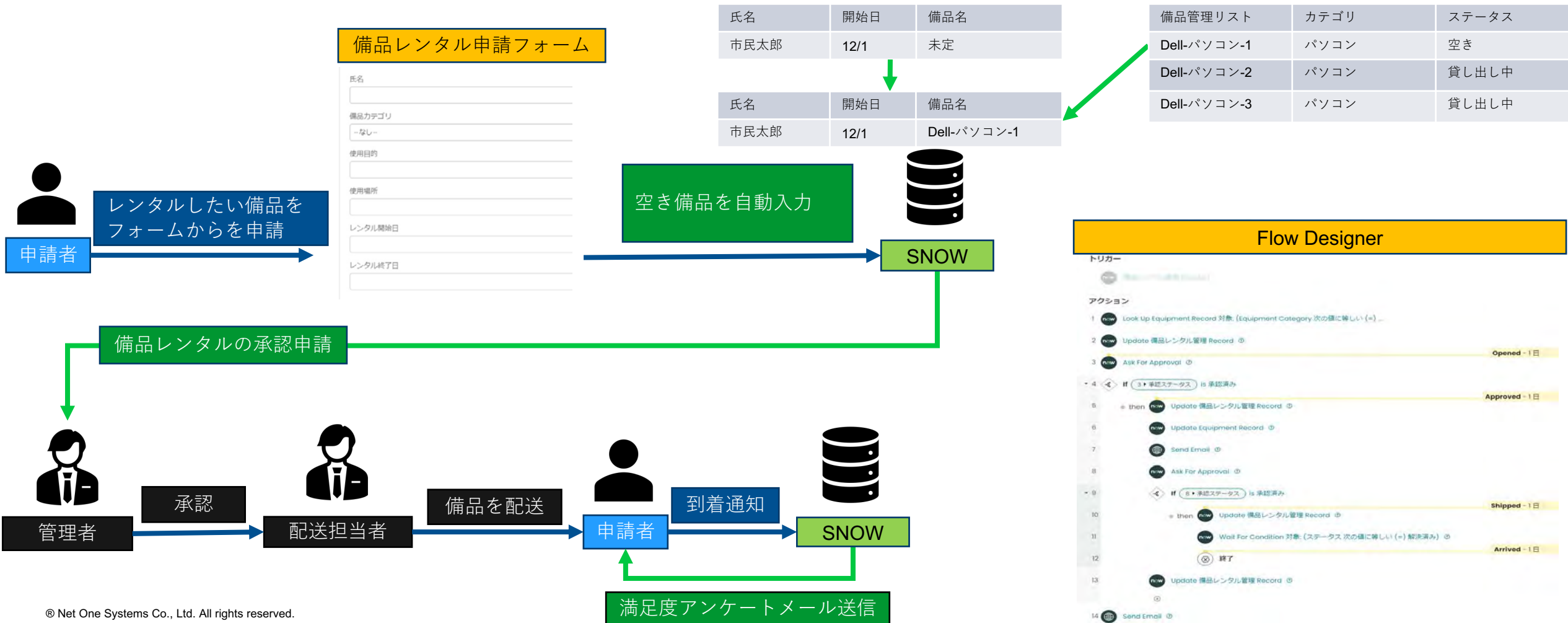


申請完了

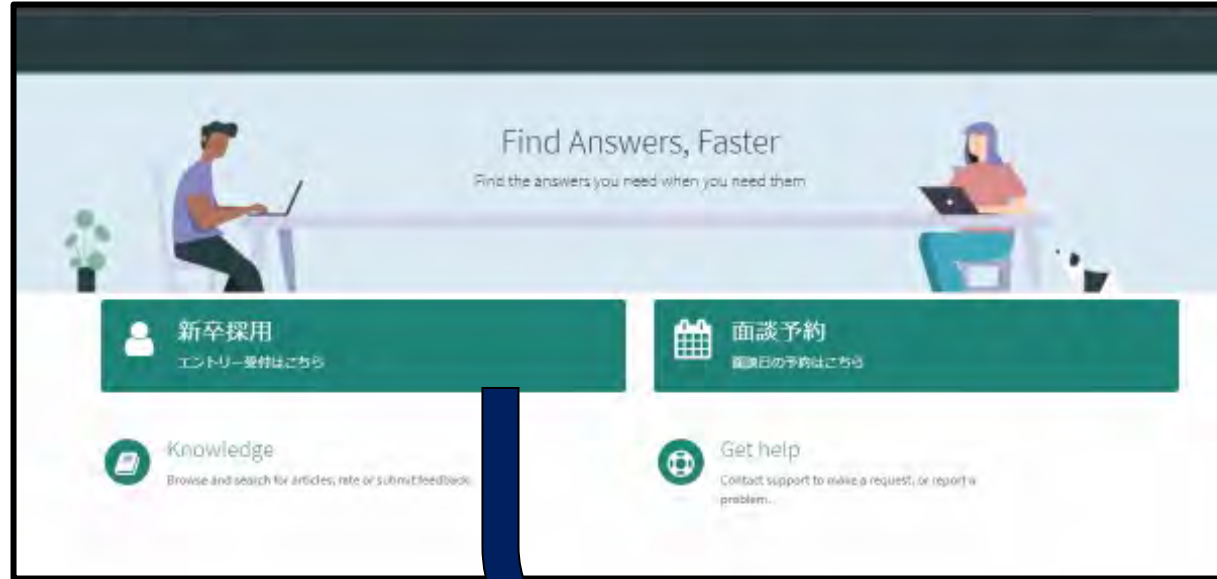
インターン実施概要 < 備品レンタル申請機能 >

内容

申請者は専用フォームから備品(パソコン、プロジェクタ等)のレンタルを申請することができる機能。
管理者は申請の承認を行い、配送担当者が備品を申請者に配送する。また承認されたと申請者に、承認完了メール通知を送る。
FlowDesignerで開発を行い、短期間で空き備品の確保・申請の承認依頼・配送依頼、各種メール通知を行う機能を作成することができた。



【就職希望者向けポータルサイトTOPページ】



企業における新卒採用業務を
デジタルシフトするWebアプリケーションの開発

【エントリーフォーム】

他にも、下記機能を開発

- ・採用側での面談結果入力
- ・面談結果から評価点自動計算
- ・就職希望者へ評価結果メール自動送付
- ・ポータルサイトからの面接予約

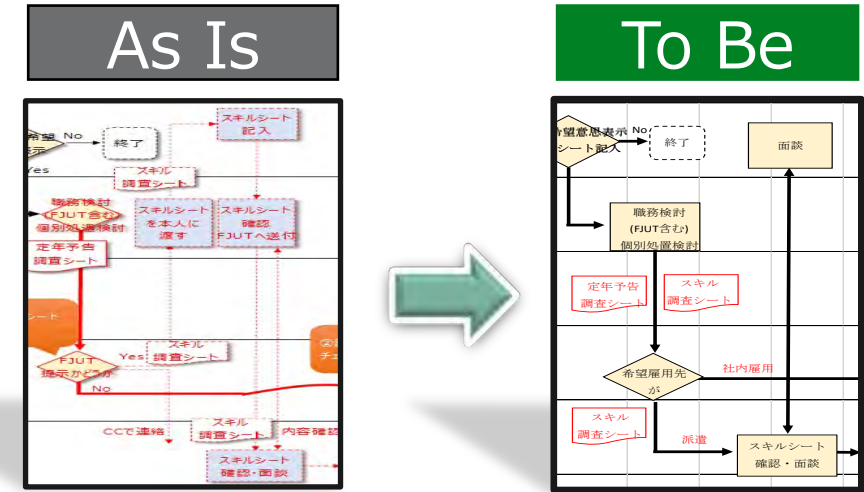
3日間で要件ヒアリング・設計・実装・テスト・デモを実施し、
SIerとして企業のDXにどのように貢献できるかを体験

従来の問題点

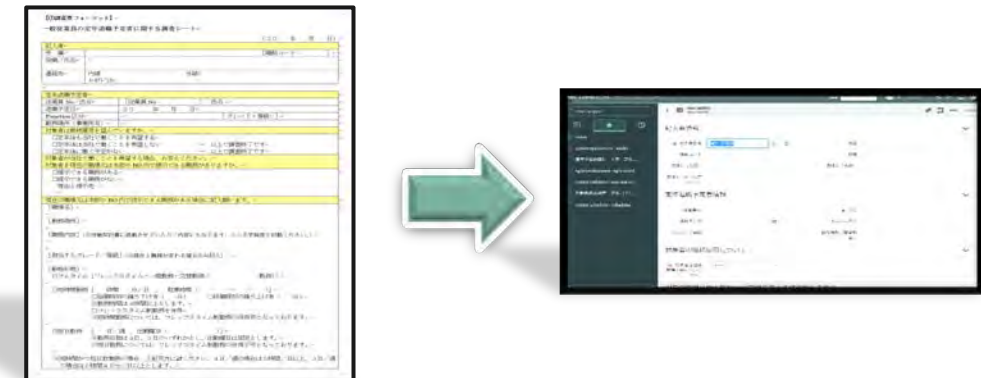
- ・word申請書の記載、チェックに所要時間大
- ・担当者判断による複雑な回送ルートが存在
- ・Excelによる煩雑な進捗管理

- ・帳票レス、申請データの一元管理
- ・フロー最適化、自動判別により回送作業減
- ・レポートによる高度な進捗管理

仮想プロジェクトを通し、アジャイル開発を体感



複雑な業務プロセスを改善



帳票レス、高度UXの提供

ご静聴ありがとうございました

